



放射線ってなあに？

ECO通信 Vol.1

エネルギーについて
勉強してきた宇宙人
名前はまだ秘密です

身近に存在している？



地球が生まれた時から放射性物質は存在し、人類は、地球上に誕生して以来、常に放射線を浴びて生きています。

日本人の1年間に受ける自然放射線*の量は、約2.1ミリシーベルトです。

空気中の ラドンなどから 0.48	食べ物から 0.99	大地から 0.33	宇宙から 0.3
----------------------	------------	-----------	----------



単位：mSv (ミリシーベルト)

*自然放射線…自然界にもともと存在する放射線

じつは、わたらの身体の中にも常に放射性物質が存在しておるのじゃ。
食べ物の中には、カリウムが含まれておるな。わたらの身体にとっては、欠かせない成分じゃ。
このカリウムの中に一定の割合で「カリウム40」という放射性物質が必ず含まれておるのじゃ。
放射性物質は、時間と共に減っていき、さらに新陳代謝によって体外に出されるから、身体の中にたまり続けることはないのじゃ。
生き物は、体内の「カリウム40」の量を一定に保ちながら生きておるのじゃよ。



じいほっばー
森のものしりおじいさん

医療で大活躍！

放射線は、工業や農業のほか医療でも幅広く活用されています。

滅菌



注射器、注射針
手術器具の滅菌

治療



がんの治療

発見



がんや虫歯の発見

輸血用の血液にも放射線は使われておるのじゃ。
採血した血液に放射線を照射することにより、
リンパ球の増殖能を壊し、輸血後の疾患を防ぐ
働きをしておるのじゃよ。
年間の診断被ばくの世界平均は、0.6ミリシーベルト
なのに対し、日本平均は3.87ミリシーベルト。
それだけ日本の医療は発達しており、病気の早期発見
に役立っておるのじゃ。



くりす
栗とかくれんぼが
大好きナリス

